

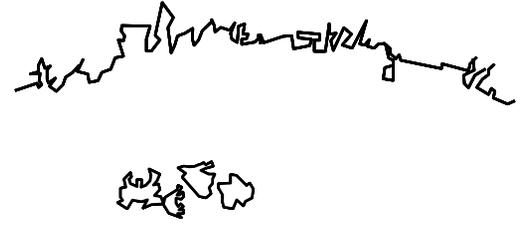
# 兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 6 号)

2019年12月 5日発行  
 兵庫のみ研究所

この海域沿岸部を中心に増殖が見られていたユーカンピアは減少しており、地先漁場の栄養塩は、前回 (11/25) 調査より回復した値となっています。沖合漁場では、珪藻はほとんど確認されず、窒素は概ね  $5 \mu\text{g at / L}$  となっています。

(**栄養塩、珪藻**) 地先漁場においてユーカンピアは群体が少し散見される程度まで減少している。代わりにキートセロスやリゾソレニア・筒状に連鎖する珪藻等、例年この時期に見られる珪藻が散見され始めた。窒素は、これら珪藻がやや目立つ網干漁場で  $3 \mu\text{g at / L}$ 、それ以外の漁場で概ね  $4 \sim 5 \mu\text{g at / L}$  の値を示した。沖合漁場では珪藻はほとんど確認されず、窒素は  $5 \sim 6 \mu\text{g at / L}$  であった。

水温図



		前回は	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	1.6	5.0	5.6	8.7
	リン	0.44	0.73	0.57	0.50
家島・坊勢	窒素	4.6	5.7	6.3	6.5
	リン	0.77	0.80	0.70	0.67

(11/25) (11/26)

栄養塩 (窒素) 図

20019年12月 5日調査

